

番組審議会 第697回

2025年10月20日

■ 審議会の構成

出席委員数 10名

委員長 音 好 宏

副委員長 江 澤 佐知子

委 員 川喜田 尚 田 中 東 子

洞 口 依 子 長 嶋 有

二 関 辰 郎 水無田 気 流

目加田 説 子

谷 本 歩 実 (リポート提出)

TBSテレビ 龍 宝 社 長

合 田 専 務

井 上 取締役

三 城 コンテンツ戦略局長

曹 情報制作局長

朝 倉 情報制作三部長

岩 本 「アッコにおまかせ！」
チーフプロデューサー

藤 田 編成考査局長

浜 崎 カスタマーサクセス室長

満 田 番組審議会事務局長

■ 議事概要

1. 審議事項

(1) 「アッコにおまかせ！40周年記念SP」

10月5日(日) 11:45～13:54放送

(2) その他

2. 報告事項

(1) 番組種別公表制度に基づく

2025年4月から9月までの放送実績について

(1) 2025年度下半期の編成方針

3. 事務局報告事項

(1) 視聴者からの声

(2) 次回審議会の議題及び日程

【審議番組について】

(「アッコにおまかせ! 40周年記念SP」10月5日放送分)

1985年10月の放送開始から40周年を迎え、コロナ禍以来5年半ぶりとなる有観客で生放送。前半は昭和・平成の懐かしいニュース映像とともに、「おまかせ!」ならではの独自取材を交えてお届け。

そしてかつての人気企画「全員正解あたりまえクイズ!」が令和版で復活。

番組後半には、スペシャルゲスト・明石家さんまさんが登場。懐かしい映像を蔵出しするとともに、アッコVSさんまのトークも大盛況。

生放送中にアート集団OVER ALLsが和田アキ子さんの壁画制作にあたり、番組最後でのお披露目をもってフィナーレを迎えた。

【委員の主な意見】

- ☐ 40年間、生放送を続けるという、まずは基礎体力がある番組。日曜の昼間にリラックスして見ていただける番組であり、時代変遷を振り返ることができるのも、この番組ならではの。
- ☐ すごく懐かしい映像が出てきて、番組を知らない人でも「あの当時はこうだった」とか「アッコさんが若かった」とか、出てくる映像の古さを懐かしむことができたが、むしろ食い足りないと思うところもあった。
- ☐ 40年を振り返ってのニュースや出来事を扱うと聞いた瞬間、期待したのだが、取り扱った情報自体が少ない印象。ここはもうちょっと情報量を盛り込んで取り上げてよかった。
- ☐ アーカイブ映像を見て、昔のテレビはもっとヤンチャしていたなと改めて思った。この番組に限らないが、コロナ禍をきっかけに内輪でゲームやクイ

ズをやったりする、コスパとタイパがいい企画が多くなった。生放送である強みをもう少し生かしていただけたら。

- 最近は脳トレクイズが多い中「全員正解あたりまえクイズ！」の問題が本当に当たり前で、頭を使わないのだが何か楽しい。子どもも参加してくれて、親と子で問題を解くというファミリー的なところもよかった。
- 壁画制作は好印象。絵が完成していき最後スタジオに来ることでリアルタイム性が担保され、番組の中で臨場感を出す設計になっていた。これは今のテレビ番組がその瞬間見てもらうために必要な仕掛けなのかなと思った。
- さんまさんの登場からは、生放送で観客もいるスタジオの笑いの臨場感とで、面白く笑って見られた。「からくりTV」の映像も見せつつクロスオーバー感の生放送、途中ハラハラする場面もあったりして、それも生らしく思った。
- 出演者みなさん仲がいい、そのワイワイ感が逆に内輪話という印象を与えていたように感じたが、内輪感、停滞感を打ち破ったのはさんまさんのノンストップトークで、アッコさんとの絡みが番組をすごく盛り上げていた。
- 制作側の落としどころに時代の名残が時折見受けられた演出はもったいなかった。その点、アッコさんがさんまさんとのトーク終了時に挨拶を促すシーン、「締めるところは締める」姿勢が非常に好印象だった。
- 一部の女性準レギュラーは、最後まで顔と名前がよくわからず、にぎやかというか飾りのように扱われていた印象を受けた、
- 番組とともに年齢を重ねている一部の男性準レギュラーに比べて、女性準レギュラー陣に全くそういうものを感じず、やっぱり女性出演者は消費財なのだなと悲しい気持ちになりながら見た。

- 個人的に和田アキ子さんの歌が大好きなので、ご本人リードで合唱とか、女性準レギュラーも目立つようにみんなで歌ってほしかった。2時間スペシャルなので、みんなでやっている感があってもよかった。
- 和田アキ子さんを「大きい」とか、「男性と間違われる」、というのは鉄板ネタとして出てくるが、若い人には性差別やルッキズムという感覚で捉えられてしまう。何か嫌だと若い人たちに思われると見てもらえなくなるのでは。
- 「全員正解あたりまえクイズ！」も、生放送だと本人たちが緊張すれば、全員正解じゃない。生番組だから出てくる臨場感みたいなものがこのクイズを含めて、この番組のある種のエネルギーなんだと感じた。40年たったが。そのエネルギーはまだまだ発揮できるのでは。

【局からの回答】

- 女性準レギュラーの立ち位置へのご指摘。クイズでみんな均等に出番があると考えていたが、2時間超という長い枠の中で、厳しいご指摘の「女性がお飾りになっていないか」、そのあたりの視点はもう少し持っておいたほうがよかった。
- 40年をVTRの中でもっと振り返ってもよかったというご意見。懐古主義になり過ぎると思ったことと、時間計算をしていく中でこれぐらいの配分量になってしまった。実際にVTRの内容は面白かったと自負しているので、情報をもう少し多岐にわたるようにつくれなかったのかというのは、我々も勉強になったし、再検討する余地があったなと思った。